

沖野東小

深まる交流 遊びも楽しく



これがイチオシ

張り切って「あいさつ」

沖野東小学校のイチオシは、なんといっても元気いっぱいなあいさつです。「すすんで 目を見て 明るい声で」を合言葉に、毎月担当のクラスごとにあいさつ運動を行っています。

あいさつ運動がある朝は、みんな張り切って学校に来てあいさつをします。地域の人も一緒に行っています。明るい声であいさつが飛び交い、地域の皆さんと交流を深めています。朝から元気になれるすてきな活動です。引き続き全校で取り組み、普段の生活でも意識して過ごしていきたいです。

学校名 仙台市立沖野東小学校
所在地 仙台市若林区沖野高野南89
創立 1983年
電話 022(285)4641
校長 伊澤 公
児童数 378名

6色に分け縦割り活動

沖野東小学校は、赤、桃色、黄色、緑色、青色、紫色の6色のグループに分かれて縦割り活動を行っています。6年生が中心となって全員が楽しめるような遊びを考えています。

異年齢での交流活動も大切にしています。私たち6年生は、1年生の朝の準備や給食の下膳の手伝い、一緒にプールにも入りました。手伝わったときに、1年生から「手伝ってくれてありがとう」と言われてすごうれしかったです。ある日、下膳を手伝おうと1年生



異年齢交流の様子

6色に分け縦割り活動

の教室に行ったら、1年生が自分たちだけで下膳をしているのを見てとても感動しました。

朝の時間、5年生が2年生に読み聞かせをしたり、九九の検定をしたりする活動も行っています。読み聞かせでは、2年生に喜んでもらえるような本を選ぶように心掛けています。

本年度から地区ごとに分かれたあいさつ運動も始まり、ますます交流が深まっています。他の学年と交流する活動を通して、楽しく元気に学校生活を送っています。

わが校わがまち スクール通信



今回は 相互台小(名取市) 津山小(登米市)

大切な芸能 未来へつなぐ

二俣小

地域の思い込めた伝統

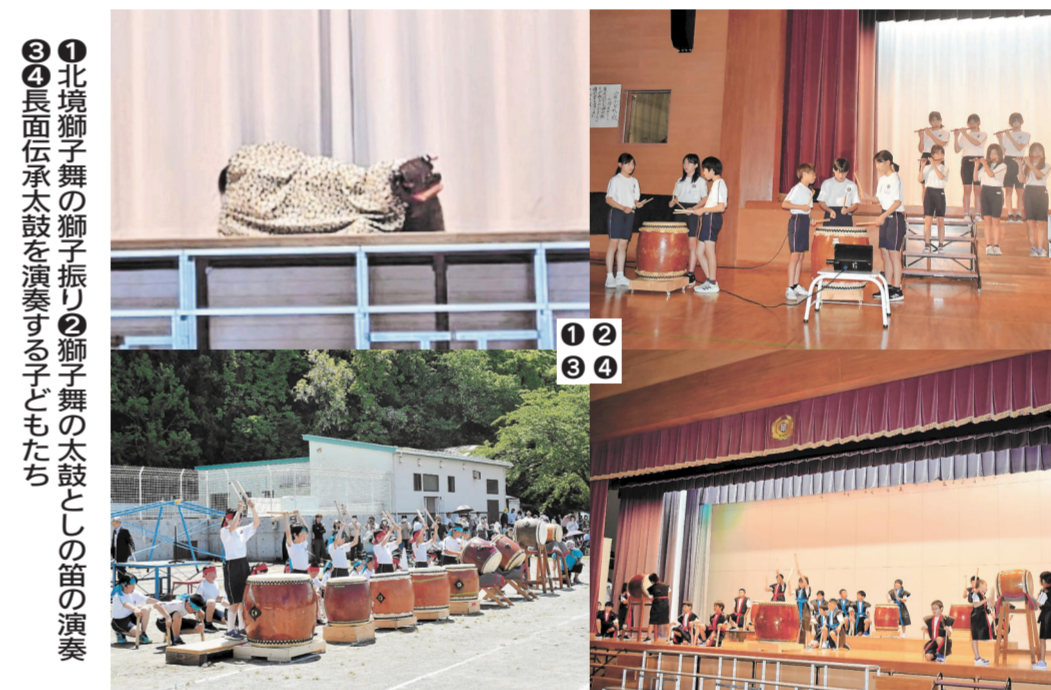
二俣小学校では、総合的な学習の時間に、地域に昔から伝わる伝統芸能を地域の方から教わります。一つは「北境獅子舞」です。笛や太鼓、演舞に地域の思いや願いが込められています。もう一つは、震災後に統合した大川小学校から受け継いだ「長面伝承太鼓」です。

高学年は「北境獅子舞」、中学年は「長面伝承太鼓」に取り組みます。

「北境獅子舞」は、獅子振り・太鼓・しの笛のチームごとに目標を立て、業前や休み時間に自主練習をするなど、本番に向けて一生懸命取り組んできました。「長面伝承太鼓」は、全員のリズムが合うように練習を重ねてきました。

本年度は運動会や学習発表会で発表しました。本番では、指導してくださった地域の方へ、感謝の気持ちを込めて演技できました。

演技後、温かい拍手をいただき、伝統を受け継ぐことの大切さや、ふるさととのつながりを強く感じました。これからも、地域とともに学び、伝統を未来へつないでいきたいと思います。



①北境獅子舞の獅子舞の太鼓としの笛の演奏
②長面伝承太鼓を演奏する子どもたち

編集委員 後藤姫愛、安田歩未(3月卒業)
指導教員 武山浩子、山崎裕子



これがイチオシ

事実と向き合い伝える

二俣小学校は、震災で被災した大川小学校と統合しました。防災学習で、大川小の壁画に描かれた「未来を拓く」について学びました。

津波の被害を受けた校舎は、保存か解体かの議論の中で、地域の方々の「壊さないでほしい」という声が届き遺構として残されました。事実と向き合い、伝え続けることが未来の命を守ることにつながる、と知りました。私たちは、「なぜここを残したのか」を考え続けることこそが、未来を拓く第一歩だと考えています。

学校名 石巻市立二俣小学校
所在地 石巻市大森大平6
創立 1873年
電話 0225(62)2218
校長 千葉 貴浩
児童数 105人

女川中、NIEに力

記事の感想発表、取材・執筆体験…

表現力・読解力向上に一役

女川町の女川中(生徒101人)が、教育に新聞を活用するNIE活動に力を入れている。2年生が朝の会で気になった記事の感想を発表しているほか、自ら取材や執筆を体験する機会もあり、表現力や読解力の向上に役立っている。

朝の会での発表は、日直が新聞を読み、地域の祭りや政治、スポーツの話題など気になった記事を自由に選び、感想をスピーチする。18日は阿部心奈さん(14)が発表した。クラスメートの阿部寛大さん(14)が河北新報社のかほく防災記者として活動してまとめた記事を取り上げた。

「避難や備えの重要性が書かれている、学びの多い記事だった」と感想を語った心奈さん。取材に対し、日々の活動を通じて新聞を読む習慣が少し付いた。

熊谷雅幸校長は「興味があるニュースだけでなく新たな知識を得られることが、デジタルの世界に生きる子どもたちにも大切なこと。来年度以降もタブレットなどのデジタル教材と併用し、生徒自身にどのような形で活用できるかを考えさせたい」と期待した。

(3月23日朝刊より)



黒板の前に立ち、記事を読んだ感想を発表する阿部心奈さん

本のプロ 推しの1冊

ぼくのたった一つのミス1 SNS/AI編
藤白圭文 中島花野 絵 高橋暁子 監修 岩崎書店



トラブル人ごとじゃない

SNSはとても便利です。しかしハサミと一緒に、使い方を間違えるととても危険です。

この本に出てくる15人の少年少女は、たった一言が悪意ある言葉として誤解されたり、何げなく投稿した写真から個人情報特定されたり…。「ちょっと」「みんなやってる」という軽い気持ちから、大きなトラブルに巻き込まれてしまいます。そして本当に恐ろしいのは、この本が現実の事件を元に書かれているということ。決してひとごとではありません。

「防犯マインドセット」という言葉があります。これは「自分もトラブルに遭うかもしれない」という意識を持ち、気を付けて行動することを言うそうです。スマホやタブレットに早くから触れている皆さんだからこそ、「自分は大丈夫」ではなく、「自分だったらどうするか」と考えながら、この本を読んでほしいな、と思います。小学校高学年から。(仙台市若林図書館 鎌田香織)